

MetaCore, a Cortellis™ Solution

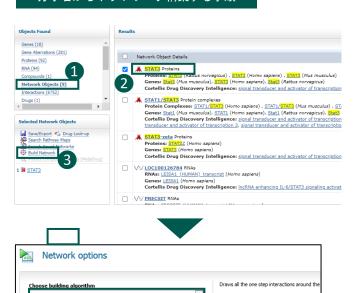
Quick Guide Series: No. 9

http://portal.genego.com

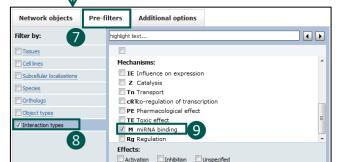
検索した遺伝子名からネットワーク解析を行う (Expand by one interaction)

本資料では、検索した遺伝子名からネットワークを構築する方法をご紹介します。STAT3を例にとり、その上流で相互作用を示すmiRNAのネットワークを描き、さらに、着目する他の分子がこのネットワークにどのように関連するかを検討します。

分子名からネットワーク構築する手順



- 1 STAT3を検索し[Object Found]から[Network Objects]を選択します。 分子名を検索する方法についてはQuick Guide Series No.1も参照してください。
- ② 現れた結果からSTAT3を選びチェックボックスに チェックを入れます。
- ③ [Selected Network Objects] の欄に現れる[Build Network]をクリックします。
- 4 Network options画面。ネットワーク構築のアルゴリズムから[Expand by one interaction]を選択します。
- 5 ネットワーク構築の方向を選択します。ここでは [Upstream]を選択しています。 上流の分子のみを表示させることが可能です。他にも[Downstream]、[Both]が選択可能です。
- ⑥ [Show additional options]をクリックすると画面下部にOption menuが開きます。

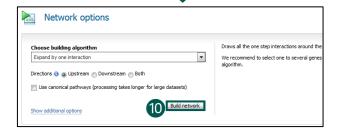


Build network

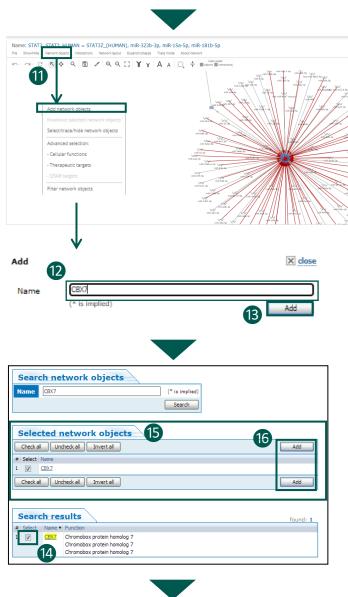
6

4

- 7 [Pre-filters]タブを選択します。
- 👔 [Interaction types]にチェックを入れます。
- Mechanismsの中から[miRNA binding]にチェックを 入れます。



🔟 [Build network]をクリックします。



11 ネットワーク構築結果が表示されます。 [Network objects]タブをクリックし [Add network objects]を選択します。

- 12 現れるポップアップにCBX7と入力。
- (13) [Add]をクリックします。
- 14 Search結果。[Serch results]の分子名にチェックを入れます。
- 15 [Selected network objects]欄が現れます。
- 16 [Add]をクリックします。

- (7) [Add]をクリックします。
- Add

 Name

 CBX7

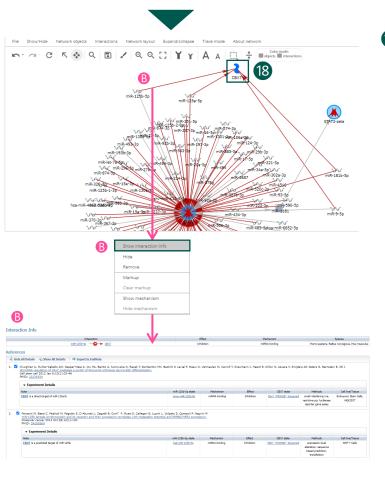
 (* is implied)

 CBX7

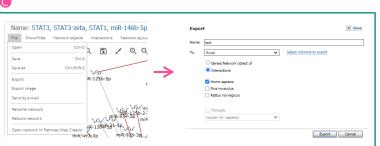
 Algorithm

 Object only

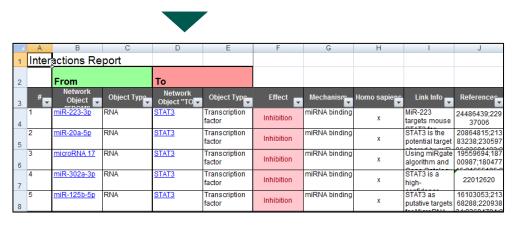
 Shortest Path
 || Show shortest path edges only || Add



- 選んだ分子がShortest Pathsのアルゴリズムに基づいて追加されます。 本例ではmiR125-5p等、複数の分子との間に直接の相互作用が追加されました。
- B 相互作用情報について、出典の文献情報を確認したい場合は矢印を右クリックし、 [Show interaction info]を選択します。



[File]から表示されている相互作用情報や参考文献の情報(PubMed ID)をExportすることも可能です。詳しくはQuick Guide Series: No. 7をご参照ください。





クラリベイト・アナリティクス・ジャパン株式会社 ライフサイエンス&ヘルスケア 事業部

〒107-6118 東京都港区赤坂5丁目2番20号赤坂パークビル18階

【製品に関する問い合わせ】クラリベイトカスタマーケア ts.support.jp@clarivate.com